

前作を超える傑作ドキュメンタリー 映画「うまれる」シリーズ第二章

うまれる

何があっても
大丈夫。

ずっと、いっしょ。

ナレーション 樹木希林

2015年9月27日(日)
9:00開場
10:00上映開始

9:30~
岡山県・岡山市・倉敷市
風疹抗体の無料検査
キャンペーン

NHK や
各種新聞で
話題!

全国の
映画館が
涙と笑いの
渦に

「愛」をいろいろな角度から
考えさせられました。
くわばたりえ (タレント)

企画・監督・撮影：豪田トモ
プロデューサー：牛山朋子
音楽：古田秘馬 構成：上村直人
タイトルデザイン：溝田 明
©2014 IndigoFilms

うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う3組の家族を描いた、愛の物語。



文部科学省・厚生労働省推薦 www.umareru.jp うまれる 🔍

日時：2015年9月27日(日)
会場：岡山大学鹿田キャンパスJ-Hall
9時00分 開場
9時30分 風疹無料検査キャンペーン
10時00分「うまれる」上映開始

お問合せ：岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室
TEL: 086-235-6538
E-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp
URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>

入場無料・申し込み不要

家族の絆ってなんだろう？

何もない人生なんてない。

誰もが向き合わなければならない課題を持って生きている。

累計 40 万人以上を動員し、

観る者を号泣させたドキュメンタリー映画『うまれる』。

生命の誕生を見つめ、様々な人生の選択とそこから生まれるドラマに寄り添った感動から 4 年。

さらにテーマを深め、「家族の絆とは何か？」を問う

『うまれる』シリーズ第二章『うまれる ずっと、いっしょ。』が、うまれた。

本作には、“最愛の妻を失った事実に向き合う夫”“血の繋がりが無い息子に向き合う父”、そして“重篤な障がいを持つ子を育てる夫婦”の、3 家族が登場する。

彼らの姿を通し、常に密接にある“生と死”を凝視しながらも、そこから脈々と受け継がれていく生命、生きる力、そして、その土台となる“家族の在りよう”に、深く感銘し、胸を打たれずにはいられない。



■ 血のつながりのない息子を育てる父親

初めて父親と息子が出会ったのは、息子がまだ 2 歳の頃。息子は母と前夫との子どもで、父とは血のつながりがないステップファミリーだ。5 歳になり、自分の父親であるかと疑っていない息子に、事実を伝えるべきか、迷う。今までの関係が壊れてしまわないか、不安に押しつぶされそうになりながら、息子に大事なことを伝えたい、と重い口を開く。



■ 最愛の妻を失った夫

末期の大腸がんを患っていた妻が、闘病の末、自宅に戻る。結婚した 2 人の娘も実家に戻り、残された時間を家族と共に過ごすことに。長女のお腹にいる 4 人目の孫の誕生を楽しみにしていた妻は、家族に見守られながら、「幸せ。ありがとう」と涙を流し、静かに息を引き取る。42 年連れ添った夫の悲しみは深く、遺影の前で涙する日々。遺された夫は、どのように立ち直っていくのか？



■ 不治の障がいを持つ子を育てる夫婦

1 歳まで生きられる確率が約 10% と言われる、18 トリソミーという染色体の障がいを持って生まれてきた虎ちゃんは、前作で 1 歳の誕生日を迎えた。2 歳になり、たくさんの笑顔を見せるようになり、できることも少しずつ増えていた。だが突然、虎ちゃんが危篤状態に陥る。両親は、虎ちゃんの死を覚悟するが…。果たして虎ちゃんは...？

奇跡的に生まれてきた小さいのち僕は良き父親になれるのだろうか？

誕生をテーマにした前作『うまれる』（2010 年）の公開と同時に娘が生まれ、小さく愛おしい命を目の前にした僕は、率直に「いい親になりたい。家族と幸せに一生を過ごしたい。」と思いました。でも、それは自分が期待するほど簡単な作業ではないとすぐに気がされました。

長年、親との葛藤を抱えてきたが故の僕の「家族の肖像」が、あまり理想的なものではなかった事と関係しているかもしれません。

それから、4 年あまり。カメラを片手に様々な家族を追いかけて完成したこの作品は、家族とは、父親とは、幸せとは、という様々な不安、責任、そして希望を追いかけた僕自身の心の記録です。

映画を観ていただいた方、それぞれに、感じていただけることがあると信じています。

監督 豪田トモ



うまれる
ずっと、いっしょ。

企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ
©2014 IndigoFilms 2014 / 日本 / HD / カラー / 122 分
企業パートナー



家族とは、大変な時も、喜びの時もある。人間はそういうものですが、問題を抱えながら生き続けていくものだと思います。本作にはたくさんのメッセージが詰まっています。観る人には、それを「心で」感じて欲しいと思います。

ナレーション 樹木希林

手に入れて、手離して。出逢って、別れて。

産まれて、死んで、また生まれる。

なんてステキな物語なのでしょう。

出演者のみなさんの交差する愛。そして、制作側の愛あふれるまなざし。

観終わって、「ありがとうございます」と呟いちゃいました。

東ちづる（女優）

家族とはずっと一緒にいることは出来ない。

でも、全力で命をかけて愛することで、ずっと一緒にいれるんだ。

鈴木おさむ（放送作家）

うまれる www.umareru.jp

日時：2015年9月27日（日）
会場：岡山大学鹿田キャンパスJ-Hall

9時00分 開場

9時30分 風疹無料検査キャンペーン

10時00分「うまれる」上映開始

お問合せ：岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室

TEL：086-235-6538

E-mail：josan@cc.okayama-u.ac.jp

URL：<http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>

入場無料・申し込み不要